

別添2-1

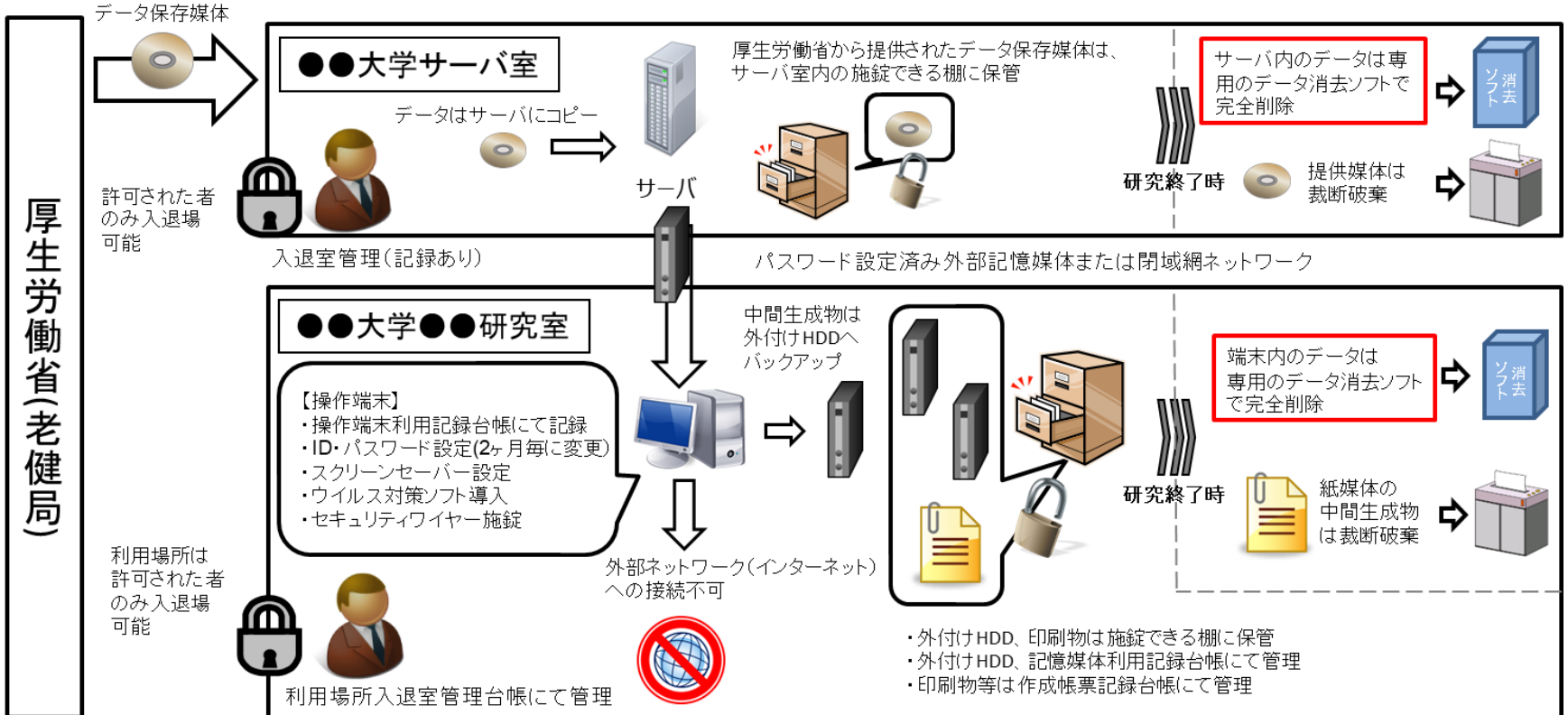
※ここでの記載内容は参考例であり、実際の審査での了承を保証するものではない

外部委託や共同研究ではない場合の参考例

運用フロー図(参考例)

<想定する利用形態>

- 要介護認定情報等は、申出書に記載されている要介護認定情報等を取り扱う者のみが利用する。
- 厚生労働省老健局より提供を受けた要介護認定情報等は●●大学の学内サーバ室のサーバに保存する。
- サーバから一部のデータを切り出してパスワード設定済みの外付けHDDで研究室の端末に複写し、分析を行う。
インターネットへの接続を禁止した閉域網ネットワークは利用可能。
- 利用場所への入退室は許可された人物のみ可能とする。
- 利用場所間で中間生成物をやり取りする際は、台帳管理しているパスワード設定済みの外付けHDDを用いる。
- 紙媒体の中間生成物、及び電子媒体の中間生成物を格納した外付けHDDは、利用場所にて施錠管理を行う。
- 要介護認定情報等を保存するサーバや端末は外部ネットワーク（インターネット）へは一切接続しない。
- 研究終了後は、サーバ及び外付けHDDに保存されているデータを、専用のデータ消去ソフトにより完全削除する。



運用フロー図(参考例)

<想定する利用形態(外部委託先含む)>

- 外部委託先である●●株式会社に要介護認定情報等を搬送し、迅速かつ正確に集計表を作成する。
- 要介護認定情報等は、申出書に記載されている要介護認定情報等を取り扱う者のみが利用する。
- 厚生労働省老健局より提供を受けた要介護認定情報等は●●大学の学内サーバ室のサーバに保存する。
- サーバから一部のデータを切り出してパスワード設定済みの外付けHDDで研究室の端末に複写し、分析を行う。
- 利用場所への入退室は許可された人物のみ可能とする。
- 利用場所間で中間生成物をやり取りする際は、台帳管理している暗号化機能付きの外付けHDDを用いる。
- 紙媒体の中間生成物、及び電子媒体の中間生成物を格納した外付けHDDは、利用場所にて施錠管理を行う。
- 要介護認定情報等を保存するサーバや端末は外部ネットワーク(インターネット)へは一切接続しない。
- 研究終了後は、サーバ及び外付けHDDに保存されているデータを、専用のデータ消去ソフトにより完全削除する。

